

大腸カメラ検査の流れ

どのような流れで大腸カメラ検査が行われるか、ご紹介いたします。

1 検査前準備

□ 1階、外来にて準備をしていただきます。

- ・検査着に着替えていただきます(穴開きパンツ着用)。
- ・点滴をします。
※点滴は、下剤などで失われた水分の補給と、鎮痛剤(痛み止め)などの薬を、入れやすくするためにを行います。



内視鏡室へご案内いたします。

※緊急検査や、予約状況、検査の進捗によってはお待ちいただく場合があります。

2

検査

- 血圧、脈拍を測定します。
- 検査台に、体の左側を下にして横向きに寝ていただきます。
- 肛門にゼリーを塗ります。
- カメラが入り、検査を開始します。
 - ・検査中は肩の力を抜いて、楽にしましょう。
 - ・時々、体の向きを変えたりすることがあります。
 - ・”おなら”は我慢せず、出してください。
 - ・痛みが強い場合は鎮痛剤を点滴から入れる場合があります。
 - ・必要時、組織を採取する場合があります。



検査時間は 20～30 分です(腸の長さや手術歴によって異なります)

3

検査後

□ 看護師より検査後の注意事項を説明します。

- ・検査内容によって、水分、食事の制限があります。
- ・検査時に、大腸にガスを入れているため、検査後はお腹が張った感じがしますが、大量のガスが出ると治まります。
- ・検査時に鎮痛剤を使用した場合、車、自転車、バイクなどの運転をご遠慮いただきます。

※鎮痛剤を使用された方は、覚醒するまで、ベッド上で休んでいただきます。
30分～1時間程度

□ 診察室で医師より検査結果の説明をします。

□ 説明、診察が終わったら、お会計を済まして終了となります。

お会計

